

日中の生活交通に関するアンケート調査の結果について

1 調査概要

(1) 調査目的

コミュニティタクシー未実施地域（青梅街道よりも南側）において、生活交通に対する量的な需要を把握し、生活交通について具体的に検討する資料とするため実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

調査対象： 青梅街道よりも南側に居住する 65 歳以上の市民

配布数： 2,000 部

抽出法： 無作為抽出

調査方法： 郵送による配布、回収

調査時期： 平成 23 年 7 月上旬配布～9 月中旬まで回収

(3) 回収状況

回収数： 1,202 部

回収率： 60.1%

2 調査結果の概要

(1) 日常の外出状況

- ・買物は、主に徒歩や自転車を使い、居住地近辺の大型店舗へ向かっている。
頻度は多く、少なくとも週 1 回以上買物目的で外出する人は 81%である。
- ・通院は、主に徒歩や自転車を使い、居住地近辺のクリニック等へ向かっている。
頻度は、月 1 回程度が 51%、少なくとも週 1 回以上通院する人は 15%である。
- ・その他余暇活動は、徒歩・自転車の他に鉄道や路線バスの利用割合が増え、移動範囲が広がっている。外出頻度は、少なくとも週 1 回以上が 39%である一方、未記入が 44%ある。

(2) 鉄道とバスの利用状況

- ・鉄道の利用頻度は、月 1 回程度が 28%、週 1 回程度が 25%である。路線バスの利用頻度は、月 1 回程度が 22%、週 1 回程度が 20%、利用しない人は 22%である。
- ・小平南西部地域は、鷹の台駅・国分寺駅・東大和市駅の利用が多い。
- ・小平南東部地域は、花小金井駅・国分寺駅・武蔵小金井駅の利用が多い。
- ・玉川上水よりも南側の地域は、JR 中央線の利用が多い。

(3) 自由意見から

- ・市役所（周辺の公共施設を含む）へ行く交通手段がない。
- ・コミュニティバス・コミュニティタクシーを運行してほしい。
- ・一部の地域のみでの運行で不公平である。
- ・税金の使い道として反対する。 等